

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<12週> インフルエンザ - 定点当たり報告数が前週より減少している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 第12週のインフルエンザ患者報告総数は40,394



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報
P.6

インドネシアにおける志賀赤痢菌(*Shigella dysenteriae* 1)の増加



海外感染症情報
P.7-8

2001年のHajj(メッカ巡礼)に関連した髄膜炎菌感染のリスク評価 / 他



感染症の話
P.9-11

NAGビブリオ感染症
NAGビブリオは海に下水や河川水が流入する水域に生息し、汚染された魚介類の生食などで食中毒を起こす



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(12週)
P.13-19



12週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第12週コメント 3月30日集計分

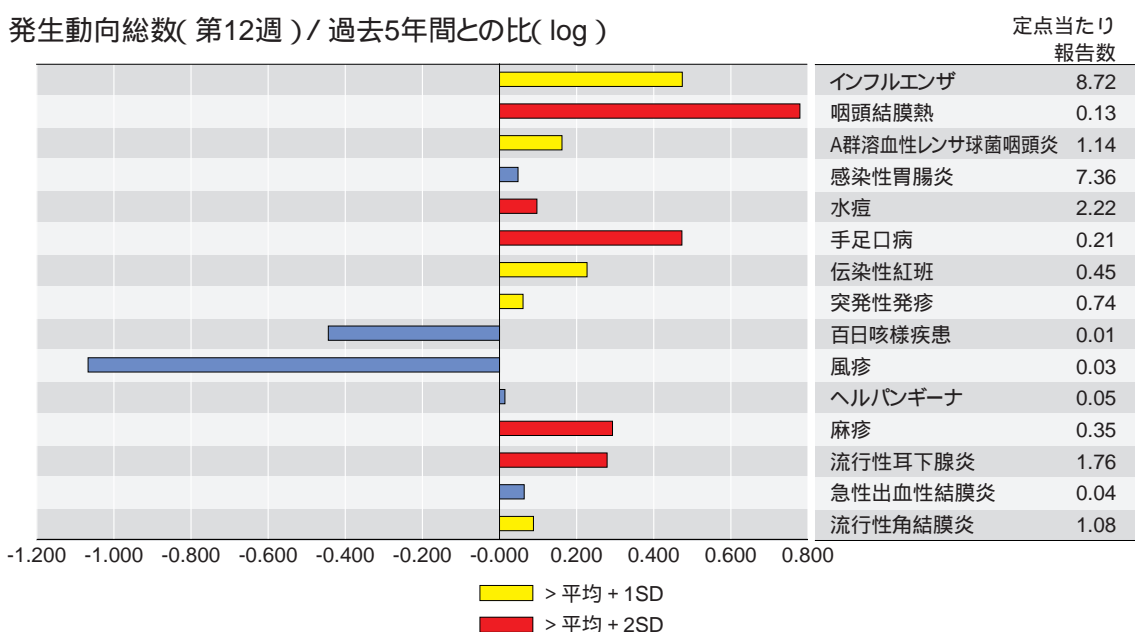
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: 香港)、細菌性赤痢9例(推定感染地: 国内2例、インドネシア2例、インド、バングラデシュ、ネパール、アフリカ大陸/インド、不明、各1例)、腸チフス1例(推定感染地: 不明)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症29例(千葉県からは6例の報告があり、O157(VT1+、VT2+)による集団感染事例の一部である。患者発生は千葉県、埼玉県にみられ、HUSを発症した症例も報告されている。)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、ジアルジア症1例、レジオネラ症1例
 急性ウイルス性肝炎4例(A型4例)
 後天性免疫不全症候群3例(AIDS2例、無症候性キャリア1例)
 感染経路: 不明1例、性行為感染2例(同性間1例、異性間1例)
 梅毒4例(早期顕症2例、無症候2例)、デング熱1例(推定感染地: タイ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザの定点当たり報告数は前週より減少している。過去5年間の同時期と比較すると、インフルエンザの定点当たり報告数はやや多くなっているが、これは例年より流行のピークが遅れているからである。定点当たり報告数の現時点でのピーク値は、流行の大きかった95年や98年と比較しても、5分の1以下となっている(詳細は4ページ注目すべき感染症参照)。流行性耳下腺炎と水痘は、過去5年の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎は福井県で定点当たり報告数7.3、熊本県で5.3となっており、水痘は沖縄県で7.6、宮崎県で5.4、山口県で4.3と多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべて定点当たり報告数がかかなり多く、高知県で2.6、大分県と熊本県で2.2となっている。流行性角結膜炎は愛媛県で定点当たり報告数4.3、奈良県で3.8と多くなっている。咽頭結膜熱、手足口病はオフシーズンとしては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(13～14ページグラフ総覧、咽頭結膜熱、手足口病参照)。

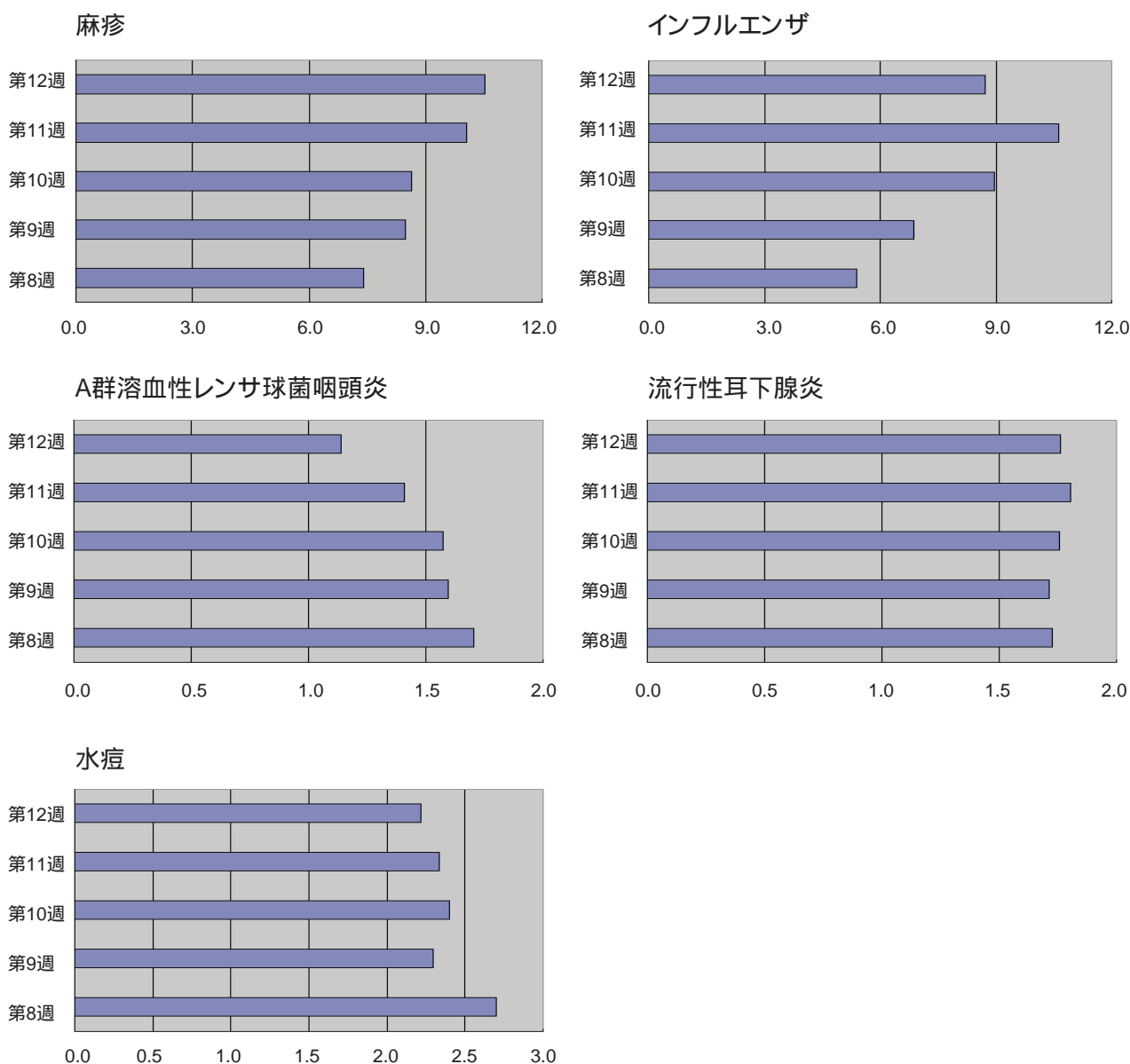
発生動向総数(第12週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

麻疹の定点当たり報告数は増加傾向にある。麻疹は例年3～6月ごろ患者の増加がみられるが、過去5年間と比較して定点当たり報告数の多い状態が続いているだけに、十分な注意が必要である。インフルエンザの定点当たり報告数は前週より減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少傾向にある。流行性耳下腺炎はこの数週間わずかな増減はあるものの、例年より定点当たり報告数がかなり多い状態が続いている。水痘はこの5週間では全体として減少傾向にある。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

インフルエンザ流行状況

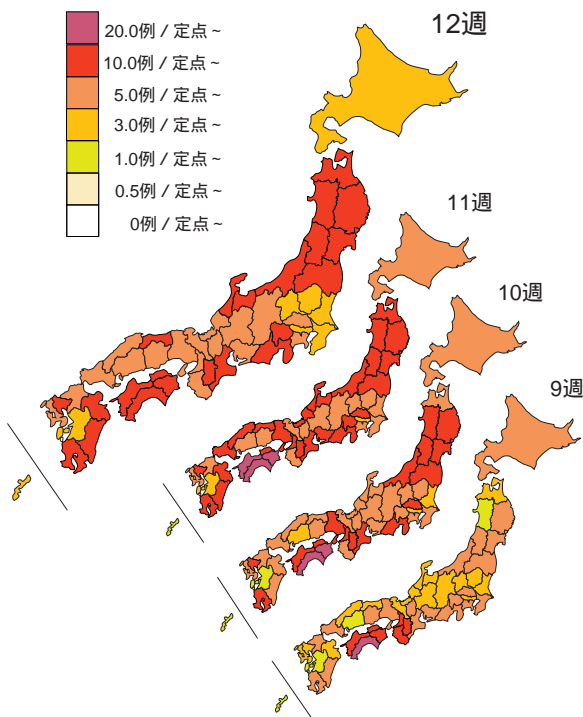
2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は、過去5シーズンに比べ立ち上がりが遅く、2001年第5週になって初めて流行開始の指標と考えられる定点当たり報告数1を超え、流行期に入った。その後第7～8週に報告数が倍増し、その後も患者数が増加した。

2001年第12週のインフルエンザ患者報告総数は40,394で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数(定点当たり報告数)は8.72で前週より減少した。定点当たり報告数が多くなっているのは、愛媛県(18.5)、岩手県(16.8)、三重県(15.9)、富山県(15.2)、石川県(15.0)などである(都道府県別患者発生状況については右図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照)。

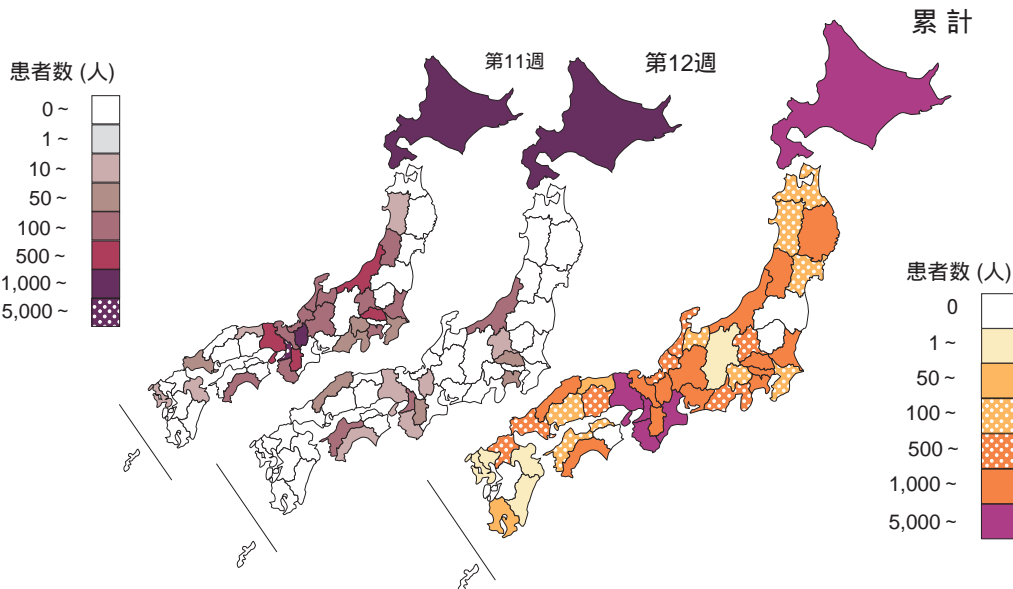
厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年3月24日までの累計で62,299人であり、昨年同期の260,011人に比べ4分の1程度となっている。

感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、2001年第12週には、愛媛県と大阪府の4保健所ほか計36保健所にインフルエンザ流行警報、大阪府の12保健所、埼玉県の8保健所ほか計152保健所にインフルエンザ流行注意報が発生しているが、いずれも前週より減少している。

インフルエンザ発生動向調査
(12週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)





病原体情報

(2001年3月30日現在報告分)

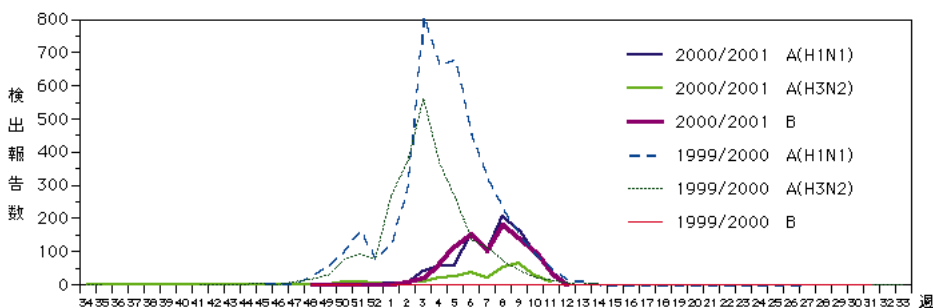
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,017件、A/香港(H3N2)型が304件、B型が971件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンの各型のピークはこれより大きく遅れている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第11週に53(14県市)、第12週に9(青森県、広島市、北九州市、熊本県)、A/香港(H3N2)型が第11週に10(7府県市)、第12週に1(青森県)、B型が第11週に43(17都県市)、第12週に4(青森県、福岡市)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2001年3月30日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



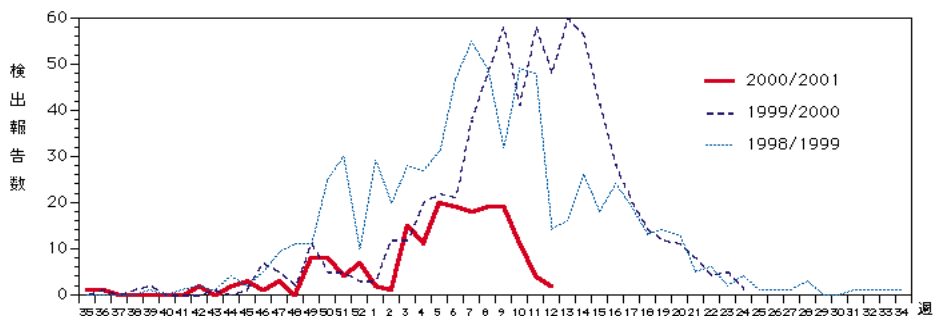
Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は183件、SRSVの検出は626件報告されている。最近では、ロタウイルスは第11週に新潟県2、大阪市2、第12週に新潟県2、SRSVは第11週に青森県1、新潟県4が報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年3月30日現在報告数)



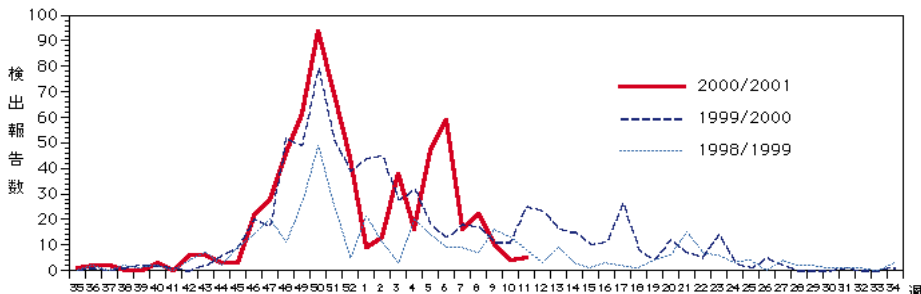
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年3月30日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



インドネシアにおける志賀赤痢菌(*Shigella dysenteriae* 1)の増加

発展途上国では1990年代に入ってから、赤痢を発症させる赤痢菌の菌種としては*Shigella flexneri*、*S. sonnei*が主であった。しかし、インドネシアにおける1998～1999年の調査によると、分離された赤痢菌のうち、約8%が*S. dysenteriae* 1であったと報告されている(1)。インドネシアにおいては、約15年前に*S. dysenteriae* 1による流行が見られたが、その再来であることへの警戒がなされている。また、この1月のマニラにおける日米医学新興再興感染症会議の席上で、インドにおいても*S. dysenteriae* 1の分離数が増加してきていることが報告された。

わが国の赤痢患者の7割近くが国外感染で、感染地の3割以上がインドおよびインドネシアであることを考慮すると、*S. dysenteriae* 1による感染者事例が今後、臨床の場で見られる可能性が高い。*S. dysenteriae* 1の感染力は他の菌種より強いと言われており、志賀毒素等の病原性因子の作用により重篤化することもある。赤痢様症状を示す患者を診た場合には、*S. dysenteriae* 1の感染である可能性も考慮する必要がある。

参考文献

(1)Emerg. Infect. Dis. 7:137-140, 2001

国立感染症研究所細菌部 渡辺治雄

(IASR2001年4月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ザンビアでペスト流行

WHO/CSR 2001年3月26日

WHOはEastern州のPetauke地区で3例の死亡者を含む23例のペストの入院患者の報告を受けた。最後の症例は2001年3月15日に報告された。

対策としてサーベイランスの強化、流行抑制と医療体制の強化およびペストを予防するための保健教育情報の提供が実施されている。

南アフリカのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年3月28日

Kwazulu-Natal保健局は、2000年8月中旬から始まった流行で3月27日までに、78,140人のコレラ患者と163人の死亡者を報告した。

Kwazulu-Natalでの流行は、Lower Umfolozi地区の一部であるEmpangeni地域とEshowe/Nkandla地域で発生している。Ulundi地域でも流行が発生しており、Lower South Coastでは主に、KwaDukuza/Stanger地域とUgu Region/South Coastで発生している。

アフリカの髄膜炎ベルトでの髄膜炎菌感染症流行 - 更新

WHO/WER 2001年3月30日

ベニン: 2001年1月1日から3月3日の間に同国北部のAtacoraおよびBorgouの2地区で、172例の死亡者を含む3,643例の患者が報告された。

ブルキナファソ: 2001年1月1日から3月18日の間に国内の19地区で、719人の死亡者を含む4,350例の患者が報告された。

カメルーン: 2001年1月1日から2月25日の間に同国北西地方の5地区で、28例の死亡者を含む415例の患者が報告された。

チャド: 2000年12月25日から2001年3月18日の間に337例の死亡者を含む3,064例の患者が報告された。

エチオピア: 全国11地方中9地方の74地区で、148例の死亡者を含む2,324例の患者が報告された。

ニジェール: 2001年1月2日から2月28日の間に、137例の死亡者を含む1,795例の患者が報告された。

2001年のHajj(メッカ巡礼)に関連した髄膜炎菌感染のリスク評価

CDC/MMWR 2001年3月30日

2001年の米国からの巡礼者における髄膜炎菌感染リスクを評価するために、CDCはサウジアラビアへの出発時の巡礼者とHajjの1、2週間後に帰国した乗客に対して、咽頭での髄膜炎菌の保菌の研究を行った。

2001年2月16日～27日の間に、ニューヨークのJohn F. Kennedy国際空港(JFK)からサウジアラビアに出発する直行便を利用する巡礼者にアンケートを行い、咽頭培養を行った。3月9日～16

日の間に、サウジアラビアからJFKへの直行便の乗客に対しても同様に行った。出発時には451人の巡礼者が対象とされ、帰国時には727人の巡礼者を含む869人が対象とされた。1,320人の乗客から分離された27の髄膜炎菌の分離株のうち、17例(63%)は分類できず(非病原性株など)、7例(26%)が血清型W-135型であった。巡礼者においては、帰国時の方が出発前より髄膜炎菌のキャリアーが多かった(2.6%対0.9%、 $p=0.04$)。出発前の巡礼者にはW-135型菌は見られなかった。しかし、6人の帰国した巡礼者がW-135型菌の保菌者になっていた。帰国の乗客では、巡礼者と非巡礼者におけるW-135型菌保菌の割合は同程度であった(0.8%対0.9%、 $p=0.98$)。

帰国した乗客の多くが上気道の症状を呈していた。63%に咳、58%に喉の痛み、24%に帰国前2週間に発熱があった。811人の帰国した乗客のうち396人(49%)が抗生物質を使用しており、抗生物質使用群では髄膜炎菌を保有している割合が少ない傾向がみられた(2.1%対4.2%、 $p=0.09$)。入院が必要な症例は報告されなかった。



感染症の話

NAGビブリオ感染症

Vibrio cholerae には200以上のO抗原が知られており、ヒトに症状をおこすO1型以外を nonagglutinable vibrios(ナグビブリオ、以下NAG)とよんでいる。NAGの一部はコレラ毒素(CT) を産生するものがあるが大部分は非産生であり、下痢症としても散発的発生がほとんどで、大きな流行はおこさないとされていた。ところが1992年にインド、バングラデシュで脱水症状をおこし、数十人の死者を出したコレラ様下痢症の大きな流行があり、患者からNAGが分離されたが、この菌は今までに分離されていない新血清型のO139であることがわかった。その後の調査でこの菌はCTを産生すること、他の遺伝学的特徴、流行の拡大の速さ、成人にも典型的なコレラ症状を発現させていたことなどから、第二のコレラ菌として扱われ、最初に分離された地名を付してBenga(ベンガル)型コレラ菌ともいわれることになった。新しい感染症法の元では、O139CT(+)感染症はコレラとして2類感染症に分類されている。ここで述べるのは、O139を除くNAGについてである。なお毒素を産生しないO1とO139は行政上、NAGと同じく食中毒菌として扱われる(図1)。

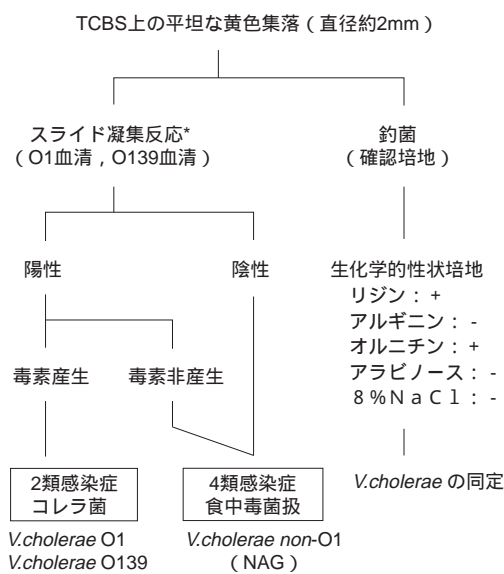


図1. コレラ菌とナグビブリオの鑑別

*コレラ菌の同定は急ぐので分離培地上の集落から直接血清反応を行い、陽性の時は衛生研究所に分離培地を届ける

疫学

本菌は海水より塩分濃度の低い下水や河川水が流入する沿岸汽水域に生息し、水温の上昇する夏季には汚染菌数が多くなる。NAGによる集団発生の報告はあまりみられず、わが国では1978年に長野県の旅館で刺身を原因とするO6による18名の患者発生、1984年高知県での学校給食、冷麺による事例、1985年福岡県の一般家庭料理による9名の事件が報告されている。外国では、1971年にスーダンでCT産生性NAGによる井戸水が原因となった600人以上のコレラ様患者発生の流行、1980年イタリアでの急性胃腸炎の集団発生などをみただけであった。散発下痢症はしばしば発生しており、魚貝類の生食によることが多いが、飲料水汚染がみられるような衛生状態の悪いところでは種々の食品を介しての感染がおこっている。

近年インドやペルーでO10、O11、O12、O54、O144など多くのnon-O1、non-O139血清型菌によるコレラ様下痢症の散発発生や集団発生があり、その病原的研究ではコレラ菌とは全く異なる新しい下痢毒素を産生し、NAGも地域流行の原因となりうるということが報告されている。今後海外旅行者下痢症を含めて監視が必要と思われる。

病原体

V.cholerae は一端一毛性のグラム陰性、中等大桿菌で菌体はやや湾曲している(図2)。本菌はわが国における食中毒の主要な原因菌である腸炎ビブリオとは異なり、食塩がない条件でも発育できる。従って、沿岸海水だけではなく日常生活排水が流入する下水、河川水や汚泥からもしばしば検出され、とくに水温が上昇する夏季には高率に分離されることが多い。他の食中毒菌に比べて乾燥、熱、酸に弱い、NAGはO1よりも抵抗性があり、適当な温度条件では食品中で増殖し、食中毒の原因となることがあるので、食品の低温保存が必要である。

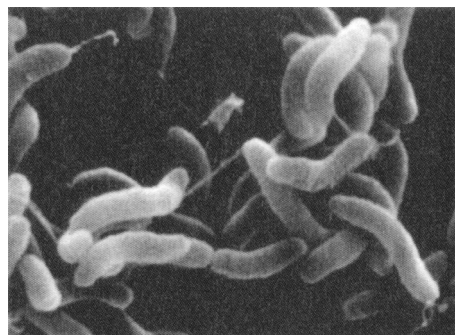


図2. ナグビブリオ(NAG)の走査電子顕微鏡像

臨床症状

コレラ菌と同じくNAGに汚染された水や食物を経口的に摂取して発生する。喫食後数時間から72時間以内に腹部不快感で始まり、ついで腹痛、悪心、嘔吐、下痢などの症状が現れる。下痢はコレラ類似の水様性から軟便程度までいろいろで、血便や38℃以上の発熱をみることがある。

本菌の腸管外感染症としては創傷感染による化膿、心内膜炎、関節炎、髄膜炎のほか、肝硬変や糖尿病患者など免疫力の低下した状態では致命的な菌血症、敗血症に至ることがある。

病原診断

患者由来材料としては下痢糞便が、環境由来材料としては感染源と考えられる食べ残した食品、調理場の拭き取り資料などが検査対象となる。それぞれの検査法はコレラ菌(*V.cholerae* O1、O139)に順ずる。

糞便は採取後直ちにTCBSなどの選択分離培地に塗抹し、増菌培養も行う。食品は細碎し、1%NaCl加アルカリペプトン水(APW)で増菌した後、分離培養を行う。水、汚泥など環境材料は、濾過が可能なものは濾過し、濾紙をそのままAPWに入れる。泥土など濾過ができないものは、同量の2倍濃度のAPWを加え、37℃で3日間培養するが、毎日分離培養を行う。

NAGはTCBS平板上では、直径2mm程度で平坦な白糖分解性の黄色集落を示すが(図3)、O1やO139コレラ菌とは区別できないので、直接診断用血清によ

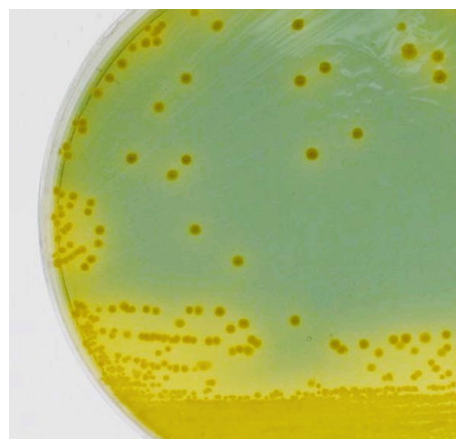


図3. TCBS培地上のナグビブリオ(37℃一夜培養集落)

って凝集反応を行い、コレラ菌ではないことを確認する(図1)。集落はTSIなどの確認培地に釣菌し、以後各種の生化学的性状によって同定する。なお、ビブリオ寒天培地上では青色の集落を呈する。

治療・予防

ふつう対症療法のみで約1週間程度で軽快するが、基礎疾患を有する患者や39 以上の発熱がみられた場合にはテトラサイクリンやニューキノロンなどの抗菌薬投与が必要となる。抗菌薬投与は下痢症状と排菌期間の短縮に有効である。年少者や高齢者などで脱水症状が見られた時には、電解質を含む輸液を積極的に行うよう治療面で考慮する。

予防のためには、患者の多くが魚貝類や飲料水に関連していることから、海産食品の生食とそれからの二次汚染調理済食品、加熱殺菌や消毒をしていない井戸水などの飲用および生野菜の洗浄など、日常生活での使用に注意が必要である。さらに生食用の魚貝類は新鮮なものを購入し、すぐに食べることを心がける。一般的にヒトからヒトへの感染は見られていない。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(大阪府立公衆衛生研究所公衆衛生部 小林一寛 河原隆二)

【訂正】

2001年第9週(通巻第3巻第9号)の「感染症の話 (ビブリオ・フルビアリス / ファーニシ感染症 : P.8 ~ 10)」において、病原診断文章中(P.10、2 ~ 3行目)に誤りがありましたので、以下のとおり訂正いたします。

なお、第9週(第9号)のPDFファイルについては、近日中に修正したPDFファイルに差し替えをいたします。

< 誤 > そのキー性状は①好塩性試験および1%NaCl加培地による培養結果、②VP反応、③アミノ酸脱炭酸、④ブドウ糖からのガス産生などである(表2)。

< 正 > そのキー性状は①好塩性試験、および、1%NaCl加培地を用いた②VP反応、③アミノ酸脱炭酸、④ブドウ糖からのガス産生、などである(表2)。



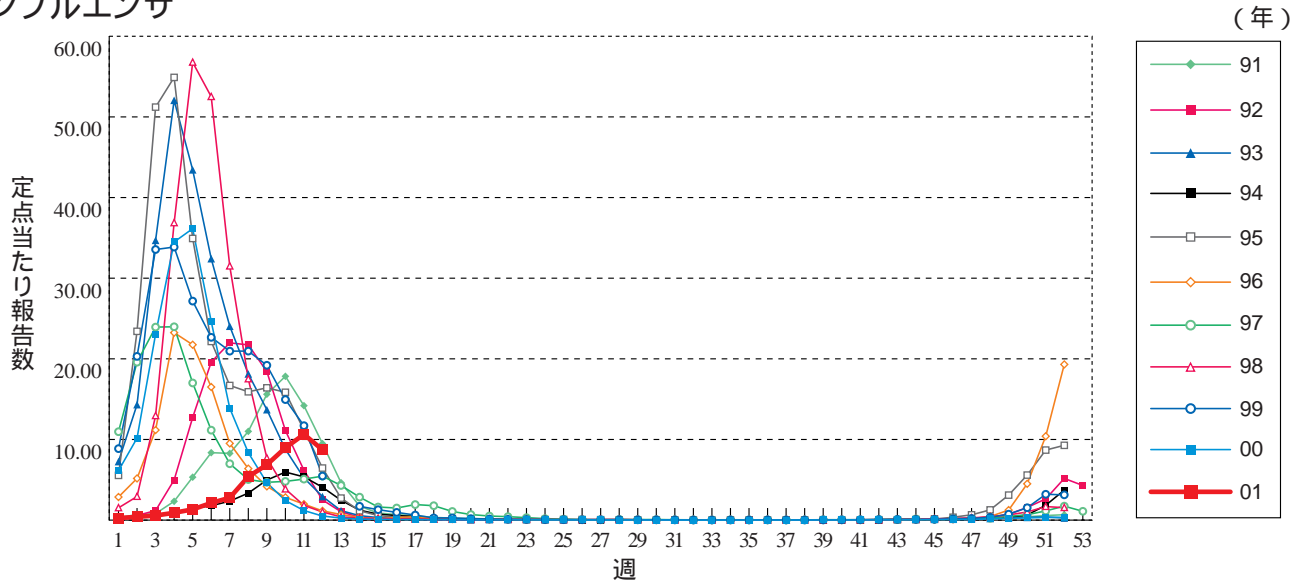
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

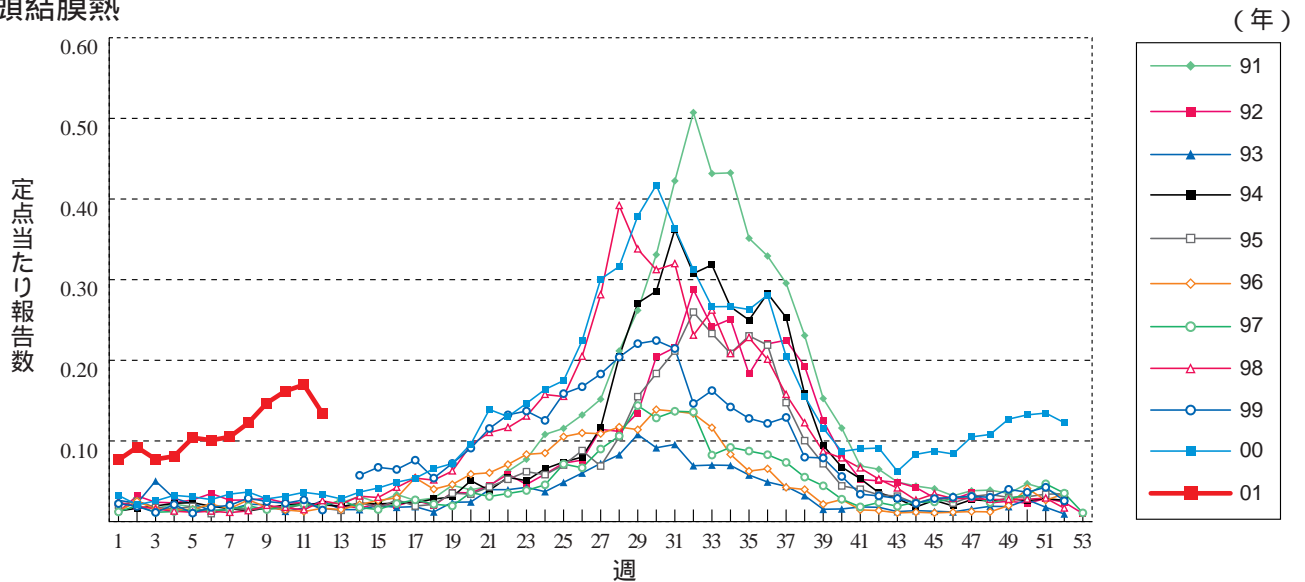
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(12週)

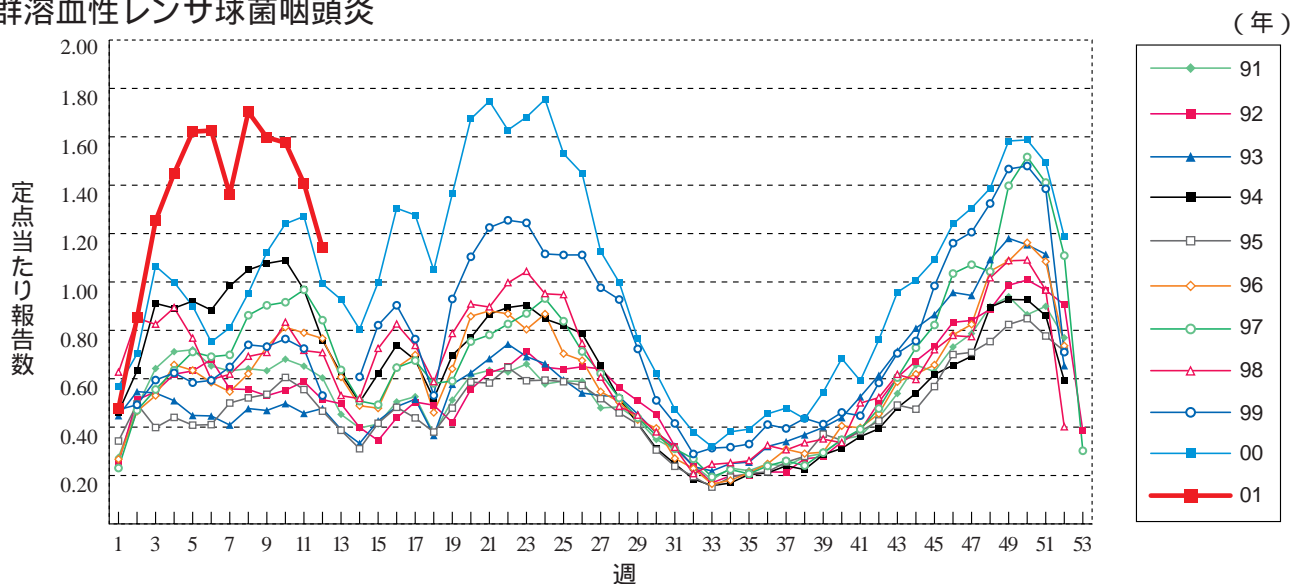
インフルエンザ



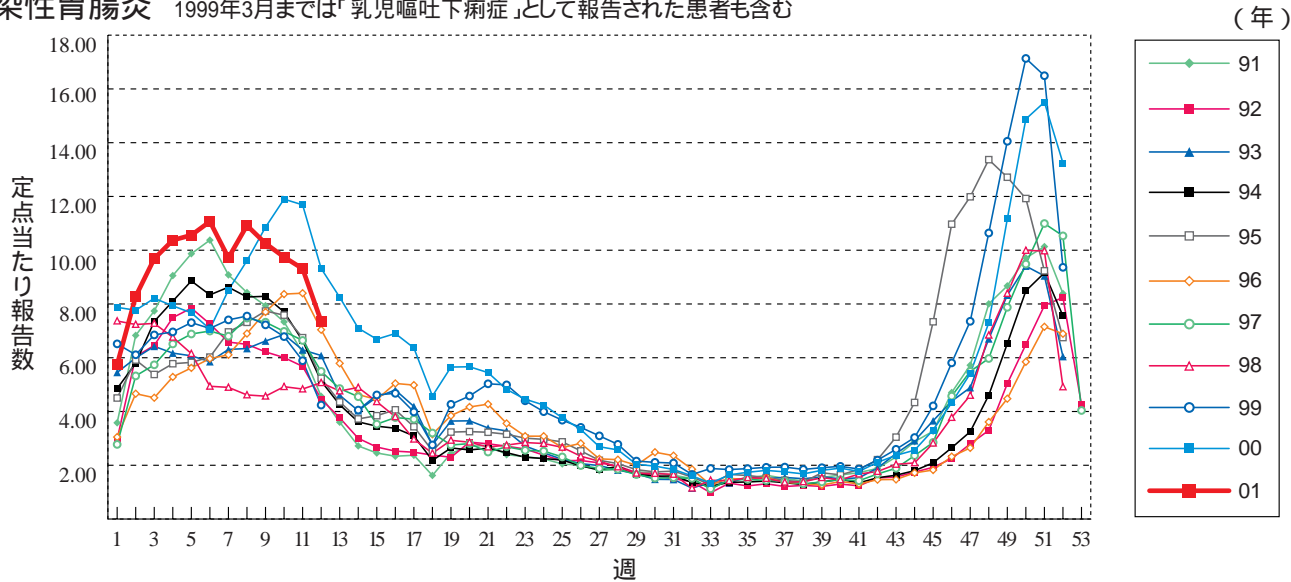
咽頭結膜熱



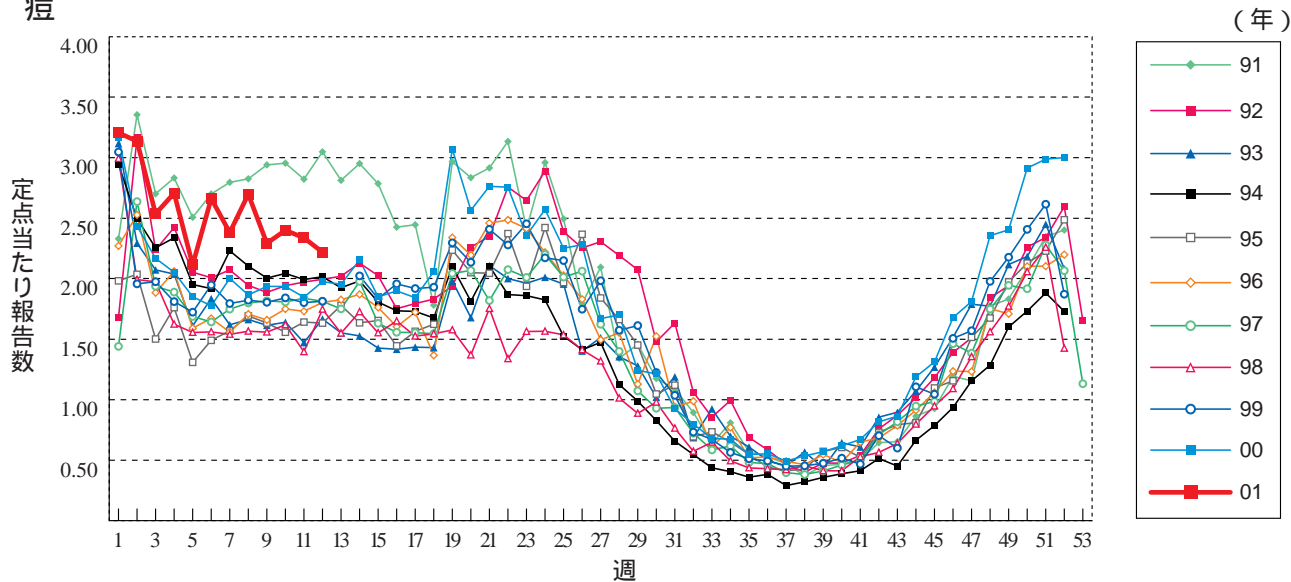
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



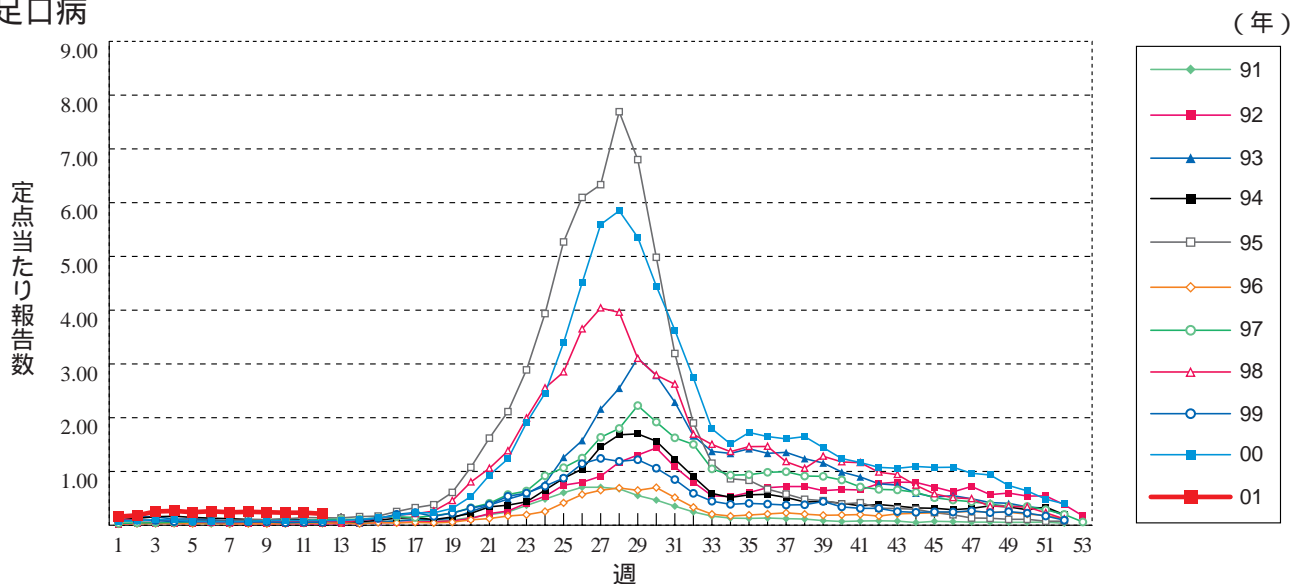
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



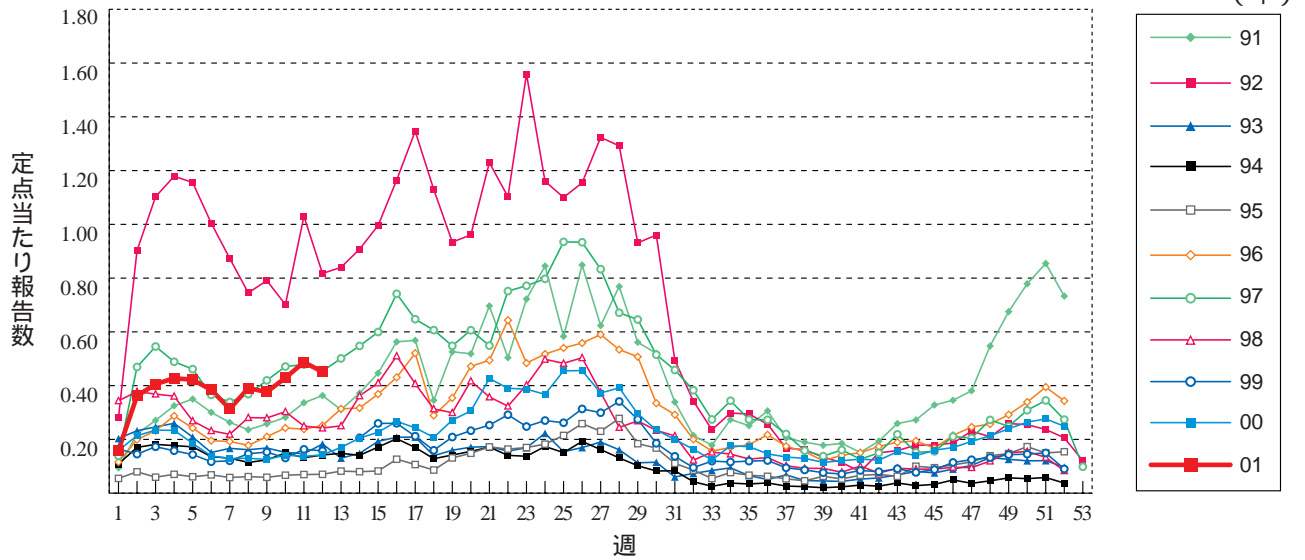
水痘



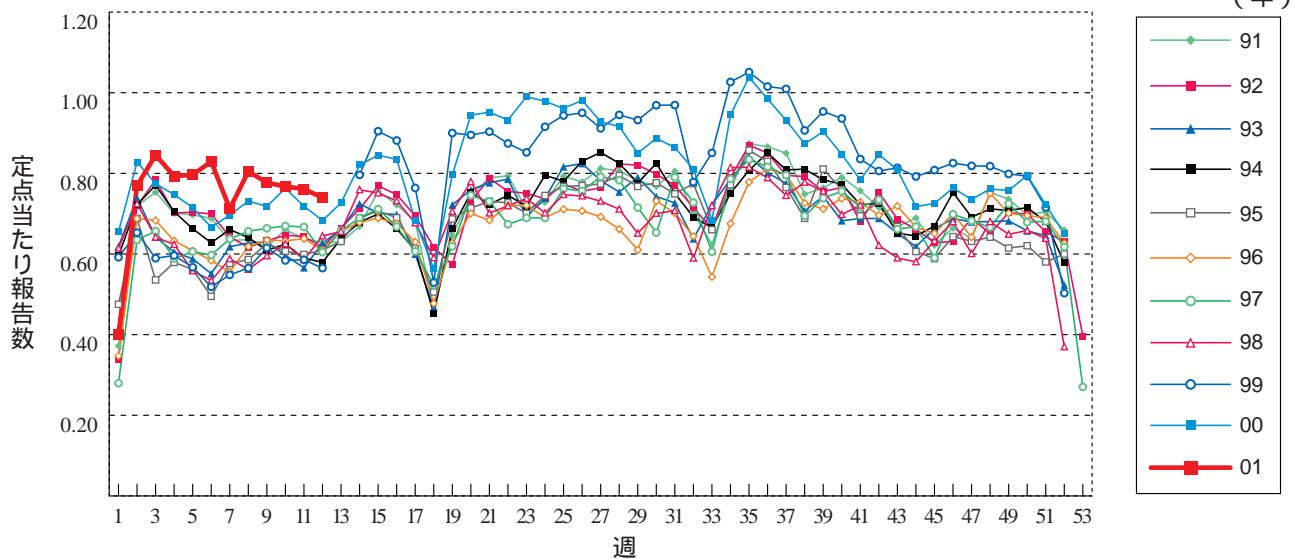
手足口病



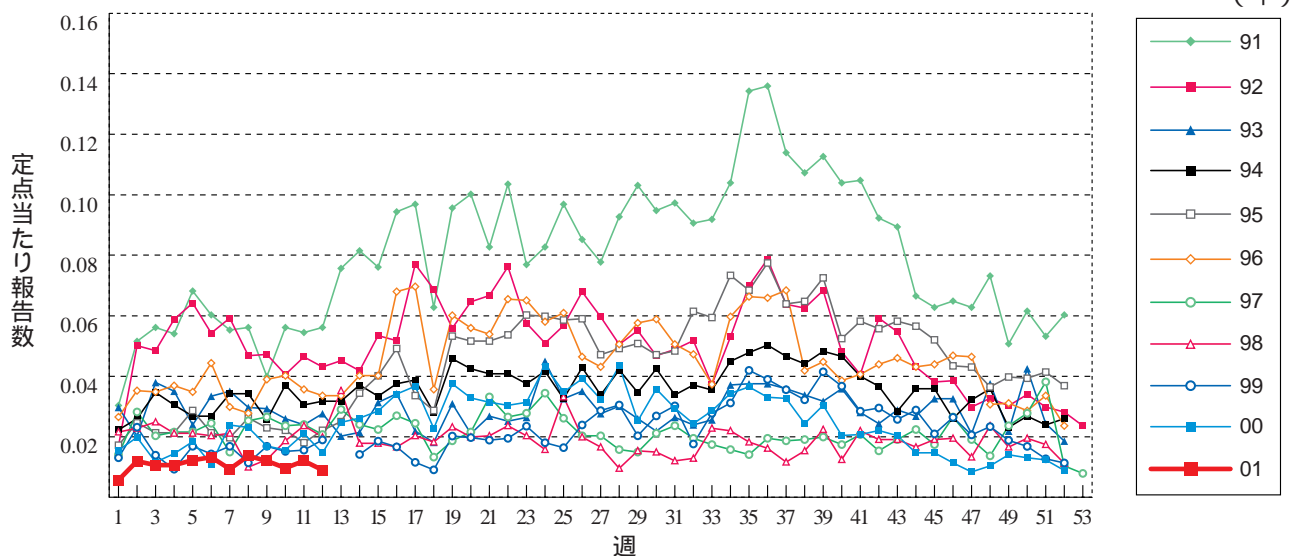
伝染性紅斑



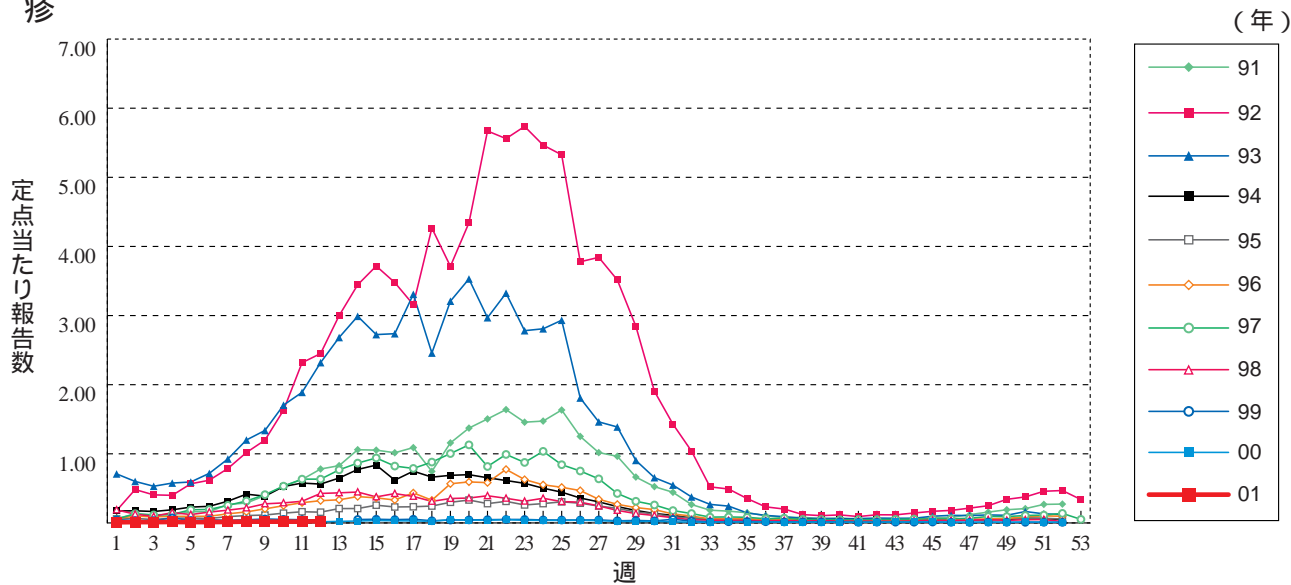
突発性発疹



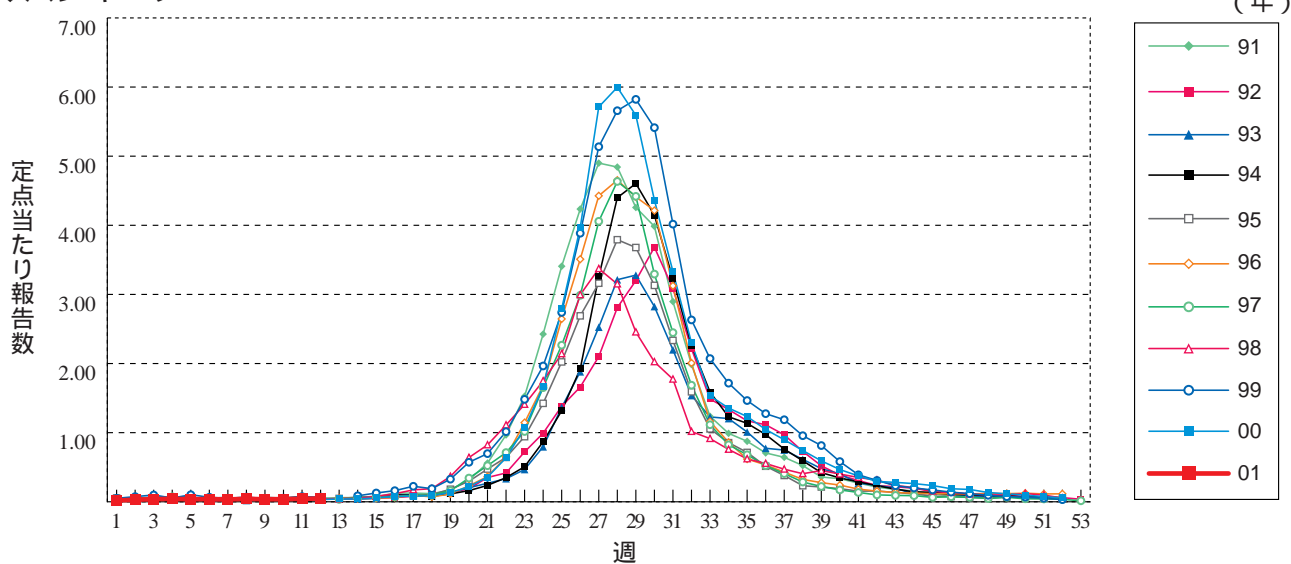
百日咳



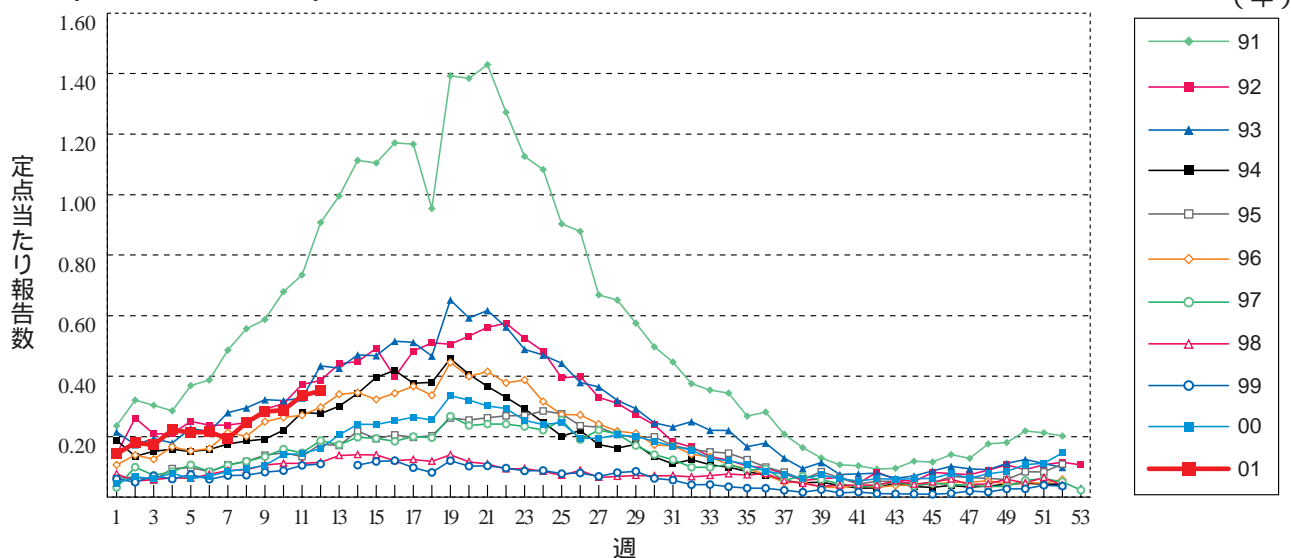
風 疹



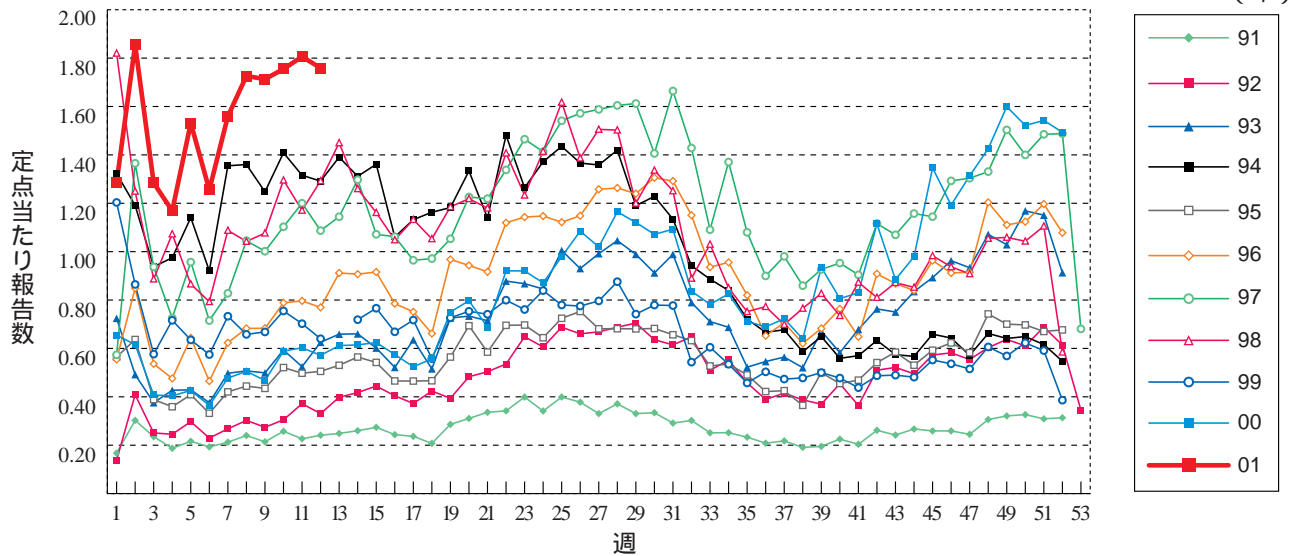
ヘルパンギーナ



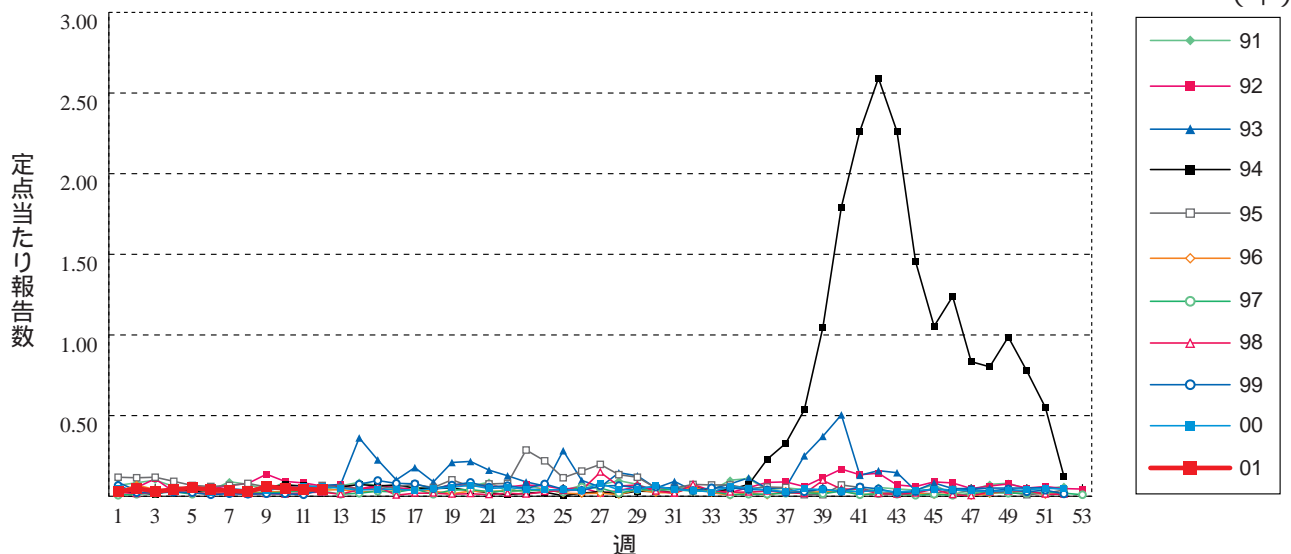
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



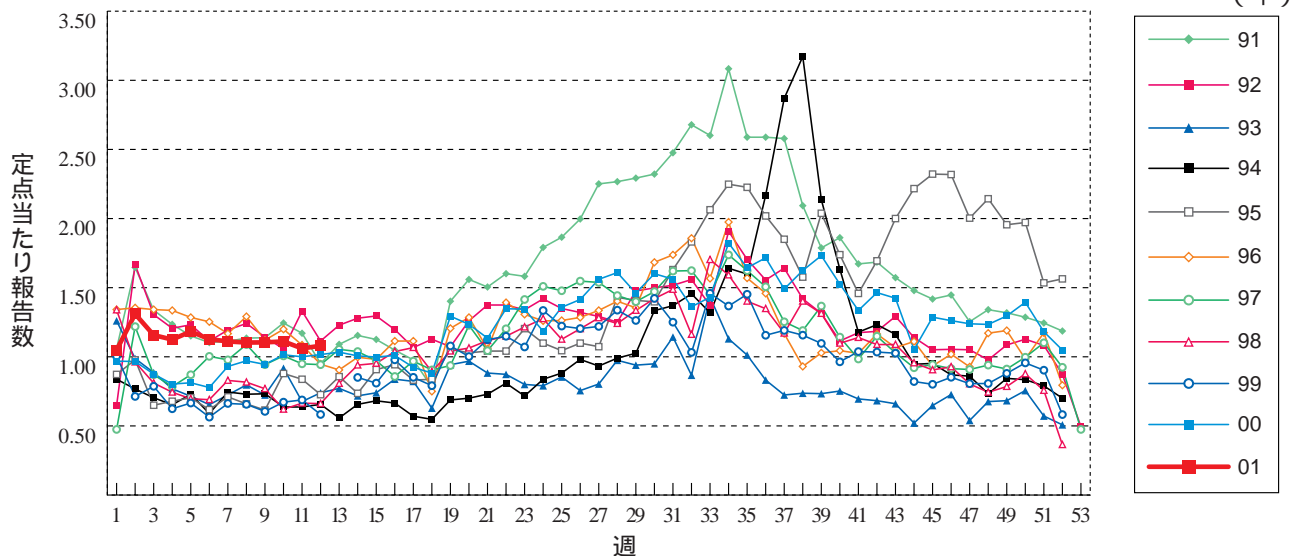
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

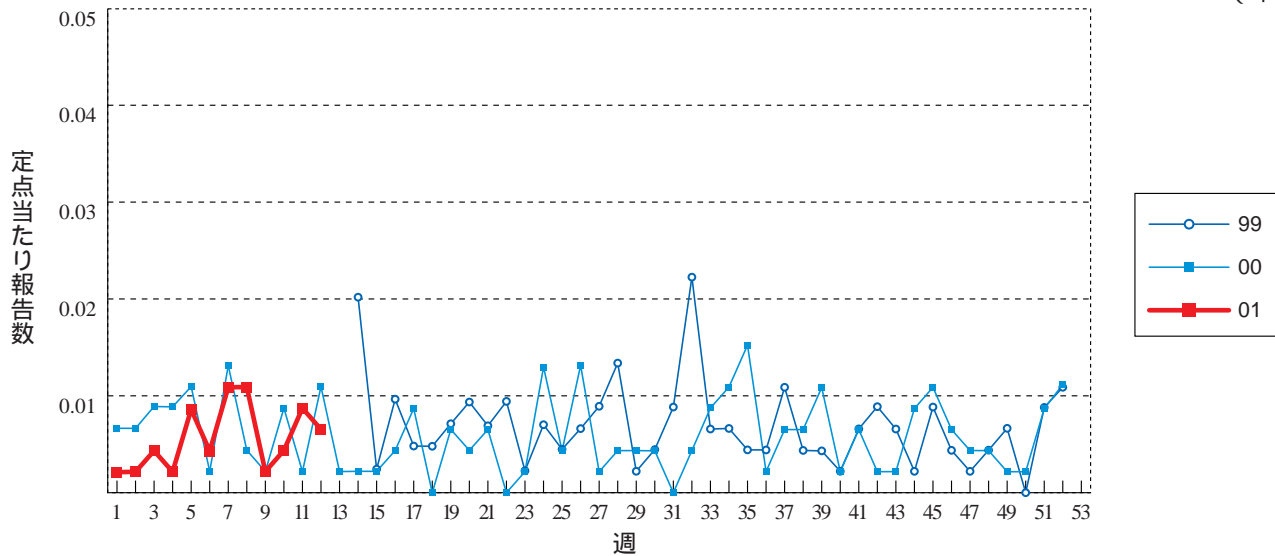


流行性角結膜炎



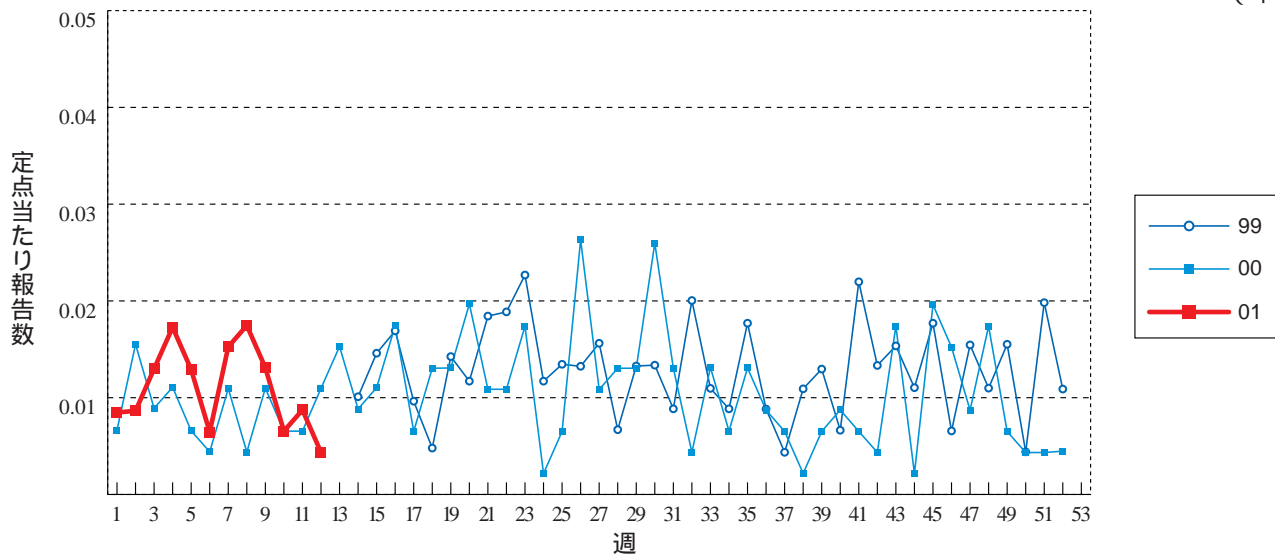
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



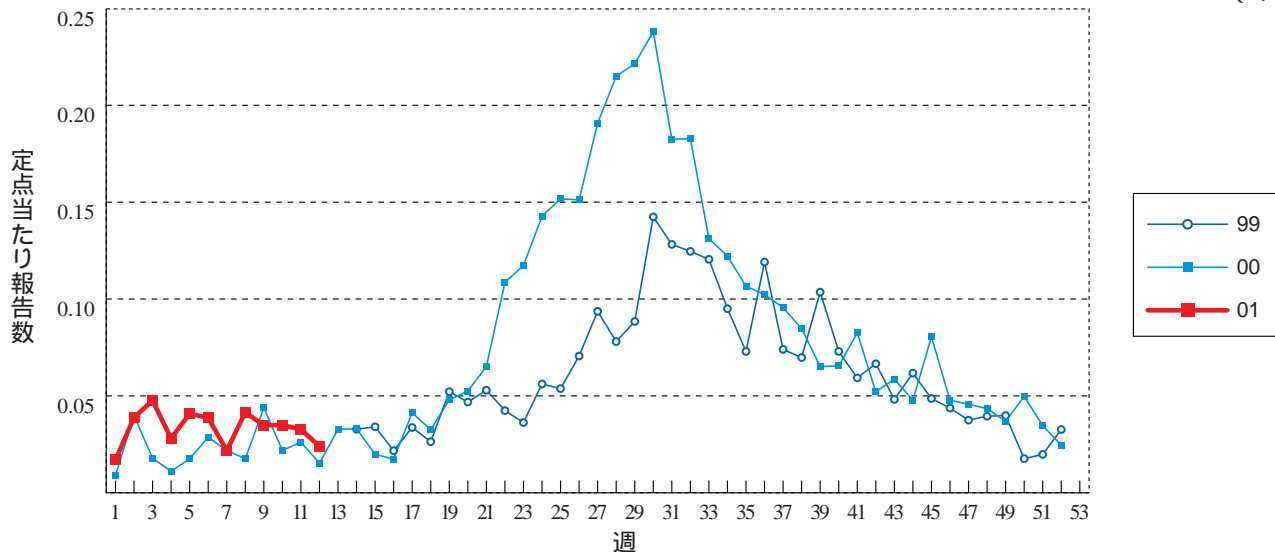
細菌性髄膜炎

(年)



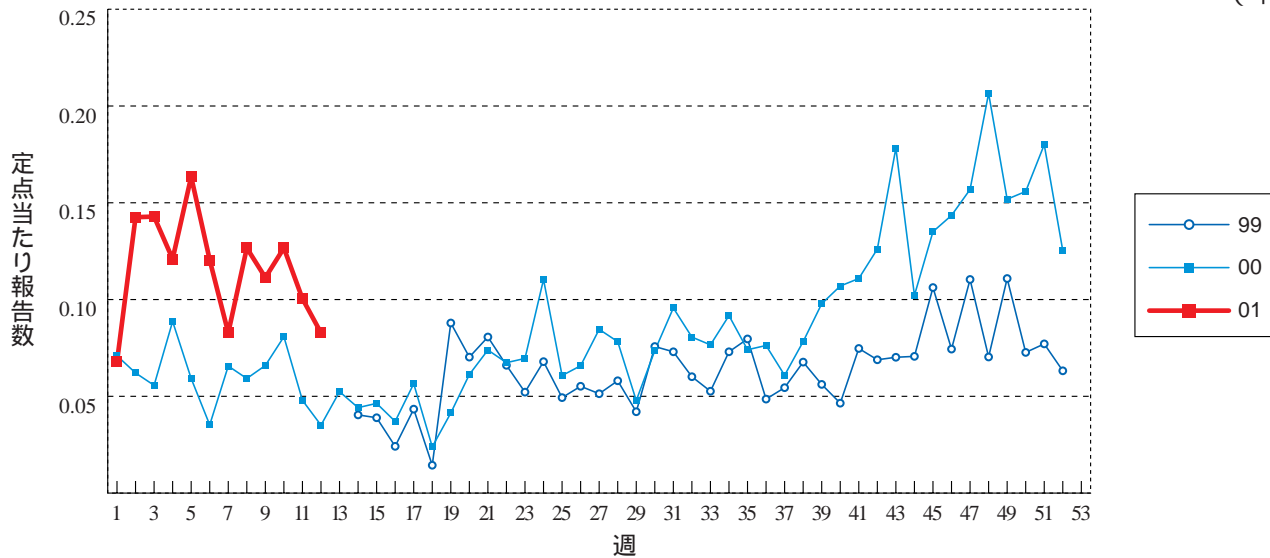
無菌性髄膜炎

(年)



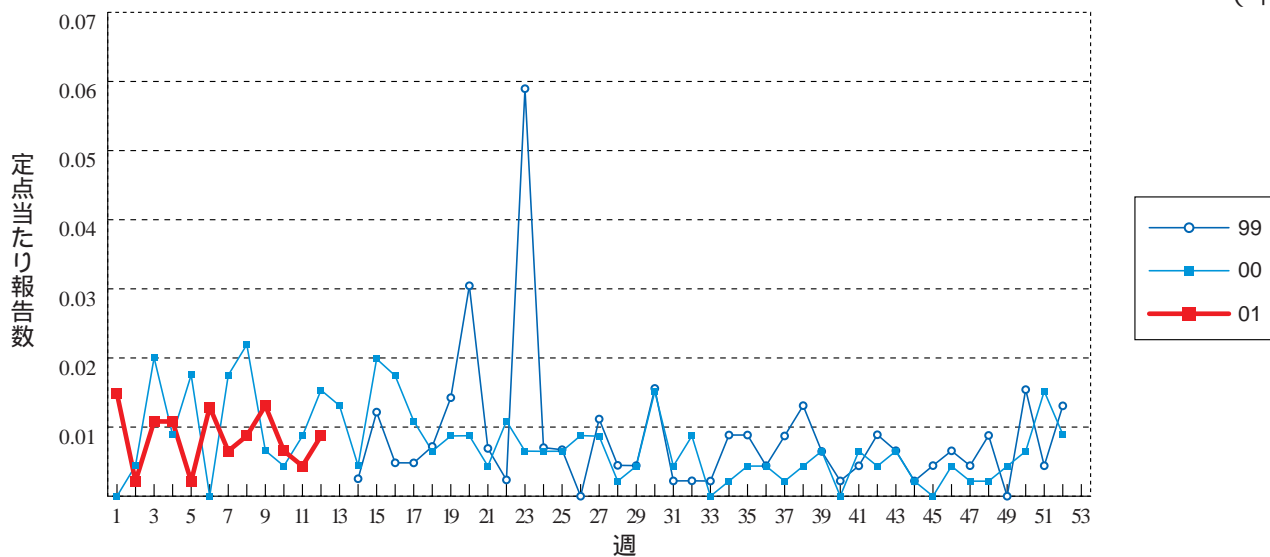
マイコプラズマ肺炎

(年)



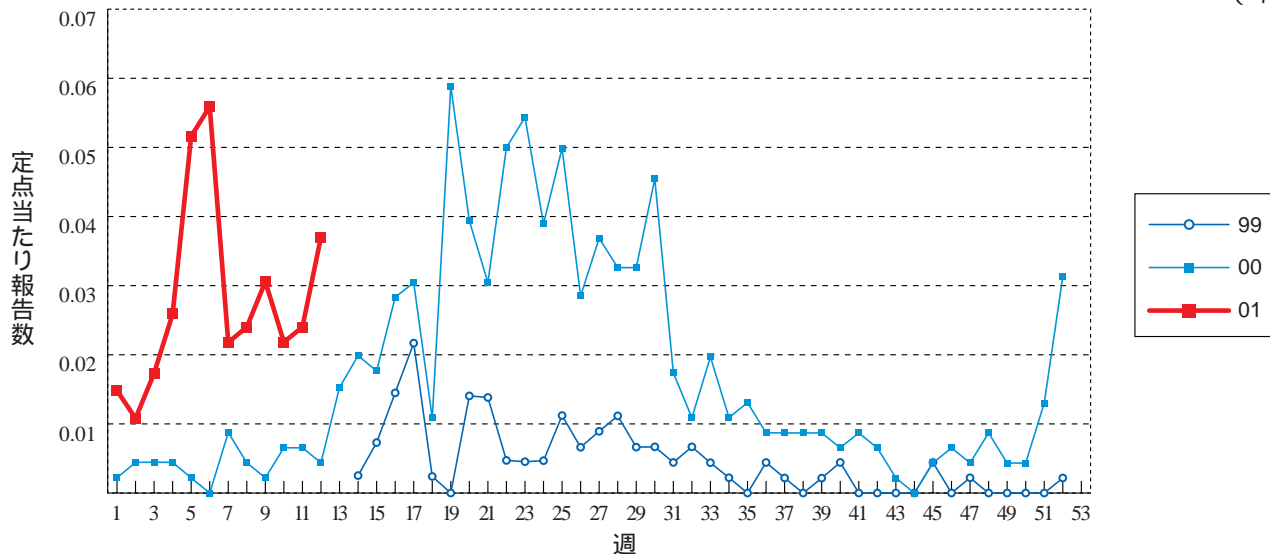
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





12週のデータ

注)表中の報告数は3月30日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年12週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	9	155	1	8	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	28	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	13	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	1	1	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年12週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	29	199	3	86	-	1	-	-	-	9	-	-	4	124
北海道	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
埼玉県	-	-	-	-	4	11	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	6	16	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	3	17	-	29	-	-	-	-	-	4	-	-	-	14
神奈川県	-	-	-	-	2	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
静岡県	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	14	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	-	19	1	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
兵庫県	-	-	-	-	-	9	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
奈良県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	4	14	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年12週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	1	-	22	-	10	3	173	-	1	1	31	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	10	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	75	-	-	-	1	19	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	19	-	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	7	-	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年12週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	42	1	8	-	-	-	-	-	-	-	4	127
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	27
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年12週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	1	16
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年12週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	40394	8.72	402	0.13	3423	1.14	22073	7.36	6659	2.22	640	0.21	1354	0.45	2219	0.74	27	0.01
北海道	1140	4.96	3	0.02	280	1.93	461	3.18	251	1.73	1	0.01	48	0.33	72	0.50	-	-
青森県	758	11.84	-	-	26	0.63	105	2.56	56	1.37	5	0.12	4	0.10	24	0.59	-	-
岩手県	1040	16.77	1	0.03	37	0.97	210	5.53	45	1.18	1	0.03	27	0.71	12	0.32	-	-
宮城県	1156	11.92	8	0.14	77	1.31	616	10.44	158	2.68	2	0.03	56	0.95	63	1.07	-	-
秋田県	752	13.67	-	-	39	1.11	288	8.23	47	1.34	5	0.14	18	0.51	23	0.66	-	-
山形県	718	14.96	1	0.03	88	2.93	259	8.63	54	1.80	1	0.03	52	1.73	35	1.17	-	-
福島県	1027	12.84	-	-	38	0.79	339	7.06	82	1.71	3	0.06	27	0.56	47	0.98	1	0.02
茨城県	544	4.61	1	0.01	106	1.45	599	8.21	168	2.30	-	-	15	0.21	38	0.52	1	0.01
栃木県	327	4.67	5	0.11	119	2.59	359	7.80	105	2.28	1	0.02	16	0.35	23	0.50	-	-
群馬県	671	6.71	2	0.03	133	2.15	443	7.15	157	2.53	5	0.08	16	0.26	67	1.08	-	-
埼玉県	2344	9.19	20	0.13	197	1.24	1490	9.37	336	2.11	9	0.06	152	0.96	129	0.81	1	0.01
千葉県	986	4.79	57	0.43	178	1.35	1099	8.33	285	2.16	10	0.08	102	0.77	93	0.70	-	-
東京都	651	3.74	3	0.02	53	0.38	777	5.59	157	1.13	12	0.09	60	0.43	66	0.47	1	0.01
神奈川県	1737	5.19	31	0.15	166	0.81	1437	6.98	441	2.14	9	0.04	99	0.48	159	0.77	-	-
新潟県	1020	10.30	44	0.73	242	4.03	500	8.33	83	1.38	2	0.03	9	0.15	50	0.83	-	-
富山県	730	15.21	2	0.07	61	2.10	239	8.24	59	2.03	5	0.17	6	0.21	20	0.69	1	0.03
石川県	720	15.00	3	0.10	42	1.45	340	11.72	74	2.55	7	0.24	16	0.55	24	0.83	-	-
福井県	291	9.09	7	0.32	39	1.77	243	11.05	39	1.77	3	0.14	12	0.55	23	1.05	2	0.09
山梨県	606	14.78	3	0.12	17	0.68	148	5.92	27	1.08	12	0.48	7	0.28	12	0.48	-	-
長野県	759	8.83	4	0.07	83	1.54	443	8.20	112	2.07	4	0.07	18	0.33	45	0.83	1	0.02
岐阜県	488	6.59	5	0.11	68	1.45	330	7.02	79	1.68	17	0.36	12	0.26	25	0.53	1	0.02
静岡県	1563	11.41	5	0.06	64	0.74	637	7.41	308	3.58	15	0.17	37	0.43	73	0.85	-	-
愛知県	1658	8.64	39	0.21	175	0.96	1321	7.26	432	2.37	24	0.13	90	0.49	108	0.59	1	0.01
三重県	1157	15.85	8	0.18	45	1.00	516	11.47	119	2.64	11	0.24	18	0.40	42	0.93	-	-
滋賀県	292	5.96	2	0.06	47	1.47	124	3.88	60	1.88	4	0.13	16	0.50	12	0.38	1	0.03
京都府	918	7.29	1	0.01	50	0.66	780	10.26	118	1.55	2	0.03	25	0.33	36	0.47	-	-
大阪府	3002	9.94	14	0.07	104	0.54	891	4.62	255	1.32	6	0.03	37	0.19	123	0.64	7	0.04
兵庫県	1943	9.81	11	0.09	119	0.93	1004	7.84	310	2.42	35	0.27	31	0.24	110	0.86	-	-
奈良県	640	11.64	-	-	18	0.51	194	5.54	51	1.46	-	-	4	0.11	20	0.57	1	0.03
和歌山県	304	6.20	-	-	14	0.45	203	6.55	85	2.74	1	0.03	1	0.03	20	0.65	-	-
鳥取県	362	12.48	-	-	70	3.68	246	12.95	40	2.11	1	0.05	2	0.11	20	1.05	-	-
島根県	298	7.84	2	0.09	11	0.48	115	5.00	26	1.13	-	-	7	0.30	13	0.57	-	-
岡山県	539	6.42	32	0.59	39	0.72	410	7.59	115	2.13	3	0.06	9	0.17	30	0.56	-	-
広島県	423	5.16	12	0.24	78	1.53	557	10.92	152	2.98	4	0.08	31	0.61	54	1.06	1	0.02
山口県	592	8.46	34	0.69	54	1.10	394	8.04	209	4.27	22	0.45	17	0.35	53	1.08	1	0.02
徳島県	562	14.79	-	-	27	1.17	133	5.78	42	1.83	1	0.04	8	0.35	13	0.57	-	-
香川県	619	12.14	-	-	32	1.00	274	8.56	38	1.19	-	-	4	0.13	23	0.72	-	-
愛媛県	1183	18.48	2	0.05	43	1.10	364	9.33	103	2.64	1	0.03	10	0.26	43	1.10	-	-
高知県	553	11.29	1	0.03	25	0.81	147	4.74	67	2.16	-	-	7	0.23	16	0.52	1	0.03
福岡県	1171	7.18	6	0.06	106	1.01	803	7.65	299	2.85	98	0.93	97	0.92	112	1.07	2	0.02
佐賀県	465	11.92	-	-	11	0.48	179	7.78	69	3.00	12	0.52	28	1.22	34	1.48	-	-
長崎県	370	5.61	-	-	18	0.38	221	4.60	81	1.69	89	1.85	20	0.42	27	0.56	-	-
熊本県	296	3.65	18	0.37	42	0.86	502	10.24	132	2.69	78	1.59	26	0.53	60	1.22	-	-
大分県	721	12.43	5	0.14	44	1.22	414	11.50	109	3.03	5	0.14	15	0.42	31	0.86	-	-
宮崎県	843	14.05	4	0.11	47	1.27	491	13.27	201	5.43	85	2.30	28	0.76	34	0.92	-	-
鹿児島県	1230	12.55	6	0.10	39	0.65	389	6.48	165	2.75	15	0.25	12	0.20	45	0.75	3	0.05
沖縄県	225	3.88	-	-	12	0.35	39	1.15	258	7.59	14	0.41	2	0.06	17	0.50	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年12週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	79	0.03	142	0.05	1053	0.35	5277	1.76	25	0.04	678	1.08	3	0.01	2	0.00	11	0.02
北海道	1	0.01	-	-	71	0.49	262	1.81	-	-	18	0.62	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	0.02	52	1.27	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	-	-	14	0.37	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	6	0.10	29	0.49	7	0.12	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	6	0.17	22	0.63	-	-	14	2.00	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	28	0.93	-	-	9	1.13	1	0.11	-	-	-	-
福島県	1	0.02	-	-	39	0.81	40	0.83	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	2	0.03	-	-	7	0.10	165	2.26	-	-	39	2.44	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	2	0.04	45	0.98	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	3	0.05	70	1.13	-	-	30	2.14	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	6	0.04	13	0.08	24	0.15	467	2.94	1	0.03	39	1.11	-	-	-	-	-	-
千葉県	8	0.06	3	0.02	55	0.42	263	1.99	2	0.06	34	0.97	-	-	-	-	1	0.08
東京都	2	0.01	4	0.03	9	0.06	128	0.92	-	-	8	0.57	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.01	9	0.04	23	0.11	392	1.90	1	0.02	57	1.36	-	-	1	0.09	2	0.18
新潟県	-	-	1	0.02	1	0.02	173	2.88	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	-	-	-	-	35	1.21	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	26	0.90	37	1.28	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	160	7.27	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	3	0.12	14	0.56	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.04	-	-	4	0.07	85	1.57	-	-	27	2.70	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	6	0.13	55	1.17	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	5	0.06	2	0.02	14	0.16	197	2.29	-	-	15	0.75	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	2	0.01	12	0.07	49	0.27	286	1.57	1	0.03	26	0.74	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	20	0.44	133	2.96	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	0.09	2	0.06	41	1.28	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	3	0.04	4	0.05	10	0.13	150	1.97	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	18	0.09	26	0.13	81	0.42	310	1.61	-	-	18	0.35	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.02	8	0.06	14	0.11	146	1.14	2	0.06	16	0.46	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	12	0.34	45	1.29	-	-	34	3.78	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	14	0.45	27	0.87	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	4	0.21	21	1.11	-	-	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	-	-	-	-	1	0.04	16	0.70	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	6	0.11	29	0.54	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.02	13	0.25	46	0.90	88	1.73	3	0.25	23	1.92	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.02	5	0.10	9	0.18	85	1.73	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	9	0.39	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	4	0.13	114	3.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	0.10	3	0.08	55	1.41	2	0.29	30	4.29	-	-	-	-	-	-
高知県	7	0.23	-	-	79	2.55	14	0.45	-	-	10	3.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	3	0.03	4	0.04	111	1.06	409	3.90	1	0.04	28	1.17	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	80	3.48	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	8	0.17	39	0.81	9	0.90	28	2.80	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.06	4	0.08	99	2.02	259	5.29	-	-	21	2.33	-	-	-	-	1	0.07
大分県	2	0.06	-	-	80	2.22	57	1.58	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	29	0.78	81	2.19	1	0.25	12	3.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	4	0.07	-	-	24	0.40	39	0.65	-	-	6	1.00	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	25	0.74	33	0.97	-	-	19	1.90	1	0.14	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年12週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	38	0.08	4	0.01	17	0.04
北海道	-	-	-	-	2	0.09
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	7	0.58	-	-	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1	0.20
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	0.07	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	7	0.88
福岡県	2	0.13	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第12号 平成13年4月6日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。